



ASAHI University News Letter

vol.114

March 2018

発行日／隔月1日

編集・発行／朝日大学 入試広報部

「2018年度事業計画」決まる



「北京大学口腔医学院看護部と歯科衛生士専門学校との学術交流協定書」に北京大学口腔医学院Guo Chuanbin院長と宮田淳理事長が調印

2018年度朝日大学事業計画が、学校法人朝日大学理事会において決定されました。

「魅力ある大学、選ばれる大学」をめざし、宮田淳理事長のもと、

大友克之学長をはじめとする全教職員が一体となっての事業計画がスタートします。

「建学の精神」に基づき 「魅力ある大学、選ばれる大学」をめざす

2018年度事業計画が決まる

2018年度の事業計画が、本年1月の理事会で決定されました。

建学の精神「国際未来社会を切り開く社会性と創造性、そして人類普遍の人間的知性に富む人間の育成」に基づき、次世代を担う若者の夢の実現に向け、教育の質の向上をはかり、社会の多様な変化に対応できる有為な人材の育成に全力で取り組むこととなります。朝日大学では次のとおり事業計画の基本方針を挙げています。

1 優秀な学生の受け入れ

・効果的な広報活動の活用

(SNSの活用、大学ホームページやオープンキャンパスの充実、進学アドバイザーによる高等学校との信頼関係の構築、アジア地域からの留学生受入れ新規拠点づくり)

・入学者選抜方法の充実

(アドミッションポリシーに基づく学力3要素を多面的・総合的に評価する入学試験の実施、高等学校学習指導要領を踏まえた記述式問題出題の実施)

2 教育・研究活動の質の保証と向上

・能動的学修の推進

(アクティブラーニングによる授業、教育課程の体系化、学修環境の整備等)

・教育の質の保証と向上に資する活動の実施

(GPA制度の活用促進、授業評価、教員評価、有識者懇談会等)

・教養教育の授業内容・方法等の改善及び充実

・地方教育懇談会の実施

・大学情報の発信

(教育・研究情報の公開、財務情報・自己点検評価・認証評価等の公表)

・IR推進本部による学生・教学等に関する情報の収集・分析・公表、教育活動改善への活用

・研究活動の推進

(宮田研究奨励金による研究支援、科学研究費助成等の外部資金の獲得支援)

・自己点検・評価の実施

・明海大学、三重大学、名桜大学との協定に基づく活動の実施 (学生・教職員の交流等)

・朝日大学発ベンチャー企業の設立の検討

3 地域社会、ステークホルダー等への貢献

・地域貢献

(高等学校との連携、産業界・他大学・自治体との連携、知的財産の還元)

・教育後援会・同窓会との連携強化

・三医療機関による社会貢献

(病院機能の充実、包括支援歯科医療センターの充実、臨床研修部の充実)



2018年度の事業計画の
基本方針を述べる宮田淳理事長

4 国際化ビジョンに基づくグローバル化の推進

・学生の国際化の推進

(海外提携大学との活発な相互交流、ELSを活用した英会話教育等)

・教職員の国際化の推進

(国際化に対応できる教職員の育成、海外留学研修支援の強化)

・地域の国際化の推進

(国際交流イベントへの参加、高等学校英語弁論大会・英語教育研究セミナーの開催)

5 学生支援対策

・学修・課外活動支援

(各種奨学金制度による経済的支援、海外研修支援、学生チューター制度・オフィスアワーの充実、学生支援センターによる支援、学友会・体育会への活動支援)

・学生生活支援

(三医療機関における診療費補助、スクールバス運行による通学支援)

・就職支援

(高い就職率の維持、岐阜県との就職支援に関する協定に基づく連携の推進、新規就職先の開拓、ICTを利用した就職支援の検討)

・留学生支援

(住居支援、就職支援の強化)

6 社会人の学び直し支援

・明海大学との連携による歯科医師に対する生涯教育の推進

・社会人向け履修証明プログラム(英会話プログラム等)の提供

・教育訓練講座(厚生労働省指定)実施

・高齢者向け学び直し支援プログラム(公開講座等)実施の検討

7 施設・設備の充実

・建物等施設設備の計画的な改修工事の実施

・附属病院の建替計画の実行

・教育充実のための設備の整備

・新学科「健康スポーツ科学科」、体育会の施設・設備の充実

・三医療機関の計画的な設備の整備

・歯科衛生士専門学校実習室の改修

8 法人運営の基盤強化

・長期収支の見通しとバランスを考慮した合理的な予算編成

・安全性・確実性を考慮した資産運用

・三医療機関の合理的かつ効率的な経営

・外部資金獲得の推進

(科学研究費助成事業、受託研究費、研究費助成金等)

・計画的なSD及び国内外研修による職員の育成

教職員の資質向上が不可欠

教育職及び事務職の管理者を対象としたSD研修会が開催され、大友克之学長、岡村明夫常務理事らから「2018年度事業計画の概要」と「本学の現状分析」について詳細に解説されました。

出席者たちは、建学の精神に基づきより一層の大学改革の推進、

組織力強化と教職員の資質向上をはかることが「魅力ある大学、選ばれる大学づくり」につながるものであるとの認識を深めました。

SD [staff development] 職員の意識改革、能力開発の実践的手法

新役職者決まる

今年3月の役職者の任期満了にともない、理事会において新役職者等が選任(再任、任期中の役職者を含む)されました。

「魅力ある大学づくり」をめざし、大友克之学長、森下伊三男副学長、倉知正和副学長、田村康夫副学長を中心とした新執行部体制がスタートします。

校法人朝日大学 新年互礼会



大橋宏重 村上記念病院長が挨拶

学 長	大友 克之
副学長	森下伊三男
副学長	倉知 正和
副学長、IR推進本部長	田村 康夫
学生部長	山本 英弘
図書館長、情報教育研究センター長	板谷 雄二
法学部長(兼法学研究科長)	大野 正博
副法学部長	杉島 正秋
経営学部長(兼ビジネス企画学科長)	岩崎 大介
大学院経営学研究科長	板谷 雄二
経営学科長	荒深 友良
保健医療学部長	小島 孝雄
看護学科長	須賀 京子
健康スポーツ科学科長	竹島 伸生
歯学部長(兼歯学研究科長)	江尻 貞一
附属病院長	永原 國央
附属病院PDI岐阜歯科診療所長	藤原 周
附属村上記念病院長	大橋 宏重
教職課程センター長	服部 哲明
留学生別科長	横山 博信
健康管理センター長	塙原 隆司
歯科衛生士専門学校長	磯崎 篤則

岐阜県商工会連合会との連携強化

朝日大学と岐阜県商工会連合会は、岐阜県の産業、観光、まちづくり、教育等の分野において連携協力し、地域産業の活性化と人材育成に寄与することを目指し、連携活動に関する協定を締結しました。

今後、両者が共同して、研究・教育資源の地域への情報提供、起業・経営革新に関する講座やセミナーの開催、経営相談や人材育成支援、経営者や地域リーダーとの情報交流促進、受託研究・調査、共同研究、マーケティング分野における連携などを推進してまいります。



岡山金平会長(左)と大友学長が協定を締結

南アフリカ特命全権大使が講演

駐日南アフリカ共和国大使館Thulani Dlomo特命全権大使とRoni Kubane一等書記官が穗積キャンパスを訪問し、全権大使から「南アフリカの未来」と題した講演をいただきました。教職員らは南アフリカと日本のさらなる友好関係が深まることを願いつつ全権大使の講演に耳を傾けていました。



Thulani Dlomo特命全権大使が講演

映画×トーク×南アフリカ文化のタベ

岐阜県教育文化財団と朝日大学との連携企画として、岐阜県ラグビーフットボール協会創立70周年を記念した「映画×トーク×南アフリカ文化のタベ」がぎふ清流プラザ(岐阜市)で開催されました。大友克之学長、体育会ラグビー部の吉川充監督が元ラグビー日本代表で各務原市出身の薫田真広氏と共にトークショーに出演し、約400名の来場者を前にラグビーの魅力を紹介しました。

その後、南アフリカを舞台にしたラグビー映画「インビクタス—負ける者たちー」が上映されたり、南アフリカ観光局の後援により南アフリカワインやルイボスティーの試飲会、販売会も開催され、同国を身近に感じる一夜となりました。

北京大学口腔医学院と新たな協定

朝日大学歯科衛生士専門学校と北京大学口腔医学院看護部が学術交流協定を締結しました。

朝日大学と同院との間では、すでに1984年に姉妹校協定を締結

し30年以上に渡り相互交流を深めてきましたが、今回の協定締結は、歯科衛生士という職種がない中国での歯科衛生士育成支援と若い世代の学術交流の促進を目的としたものです。

穗積キャンパス理事長室で行われた調印式には、北京大学口腔医学院からGuo Chuanbin院長、Wei Zhang副院長、Li Xue看護部主任が、本学から宮田淳理事長、大友克之学長、磯崎篤則歯科衛生士専門学校長、山田小枝子教務主任、江尻貞一歯学部長らが出席。調印式と併せて「歯学・衛生士教育に関する協議会」を開催し、今後の交流に関する有意義な意見交換が行われました。

今回の学術交流協定締結により、日本と同様に高齢化社会を歩む中国の高齢者口腔衛生の改善に寄与することとなります。



学術交流協定を締結

FP資格試験に合格

経営学部学生2名が、日本ファイナンシャル・プランナー協会が実施する難関試験のFP資格審査試験(CFP)にみごと科目合格(不動産設計・相続・事業継承設計)しました。

このCFPという資格は、FP2級合格者(AFP登録者)のみが受験可能で、全6科目に合格するとFP1級の学科試験が免除されるため、FP1級取得への近道といわれており、多くの金融機関で取得することが奨励されています。

高大連携セミナーを開催

穂積キャンパス5号館講義室で「ネットワーク大学コンソーシアム岐阜高大連携セミナー」が開講され、岐阜県内高等学校や中学校の英語科教員、本学教職員や学生ら約120名が参加しました。

英語教育の改革

セミナーでは講師に、NHK Eテレ「おとの基礎英語」講師を務める立教大学経営学部の松本茂教授をお招きし、「新学習指導要領に基づいた英語教育改革～高大接続を視野に～」と題した講演をいただきました。その後、「英語授業と評価の改善」をテーマに分科会(グループ討議)が行われ、参加者からは、「英語教育の問題点が再認識できた。高大連携を考える糧となった」などの感想が寄せられました。



「大会長賞」を受賞

第32回老化促進モデルマウス研究協議会研究発表会(岐阜大学サテライトキャンパス)において、大学院歯学研究科(小児歯科学)林櫻子先生の研究発表が「大会長賞」を受賞しました。併せて、小児歯学研究室が行ってきた老化促進モデルマウスを用いた一連の研究に対する貢献が認められ、飯沼光生教授に感謝状が授与されました。

また、第23回スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム日本代表選抜大会(歯科医師会館:東京)に歯学部3年の前野真太郎さんが出場し、みごと「入賞」をはたしました。前野さんは「歯の早期喪失が慢性ストレスとして作用し、海馬機能の低下に関与していること」を明らかにし、その研究成果を堂々と英語で発表しました。



大会長賞受賞の林先生(右) 前野さん(中央)が「入賞」



高等学校と簿記会計教育の連携

朝日大学と岐阜県内の高等学校との間で締結(2011年7月)された「岐阜県高等学校商業校長会と朝日大学における商業教育連携・推進に係る協定書」に基づき、新たに岐阜県立中津商業高等学校、岐阜県立東濃実業高等学校、岐阜市立岐阜商業高等学校と「簿記会計教育の連携に関する協定」を締結しました。

本学と3つの高等学校は、今後さらなる簿記会計教育の連携推進を目的とし、「高度な会計に関する資格を取得し地域社会の発展に貢献したい」という志を有する優秀な生徒に対する修学環境の整備等について相互に協力・支援していくこととなります。



簿記会計教育の連携に関する協定を締結

法学部開設30周年を迎える

朝日大学に1987年に設置された法学部が開設30周年を、また、同時に発足した朝日大学法学会も30年の節目を迎えました。

これを記念し穂積キャンパス6号館大講義室において、憲法学者で首都大学東京の木村草太教授をお招きし、「憲法の大切さ -改憲を考える前に-」と題した特別講演会を開催。約400名の聴衆が木村先生の講演に熱心に耳を傾けました。

講演会で木村先生は、「憲法や人権の大切さへの感性をみがくことが、立憲主義の実現につながる」と語られました。



木村先生が憲法の大切さを語る

18歳は、もう大人？

また、岐阜県弁護士会主催のシンポジウム「18歳は、もう大人?大学生と考える少年法適用年齢引き下げ」が穂積キャンパス内で開催され、地域の皆様や教職員・学生ら約300名が参加しました。

シンポジウムでは、「少年法の説明～通常の刑事事件との違い～」と題し岐阜県弁護士会の尾藤望弁護士、「少年事件の実情～実際の事例紹介～」と題し同弁護士会の所寿弥弁護士からそれぞれ基調講演をいただきました。その後、「適用年齢の引き下げ是非」をテーマにパネルディスカッションが行われ、選挙権年齢の18歳引き下げに伴う少年法の見直しなどについて様々な意見交換が行われました。

国際協力と医療の現状

穂積キャンパス6号館大講義室において、独立行政法人国際協力機構タンザニア事務所所長の長瀬利雄氏、元青年海外協力隊で看護師の多田恭子氏を講師にお招きし特別講演会が開催されました。

医療系学生（歯学部、保健医療学部、大学院歯学研究科、歯科衛生士専門学校）ら約250名が、JICAの役割、タンザニアにおける保健活動の取り組みなどについて熱心に学びました。

職場環境の改善をはかる

長瀬氏からは、職場（病院）における「5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰け）」のアプローチにより無理・無駄・ムラが省かれ、効率化はかかることができた事例を、また、多田氏からは、タンザニアの国立病院（ムヒンビリ病院）小児病棟での、現地看護師らの自助努力による「職場環境や医療提供システムの継続的改善の取り組み」について紹介をいただきました。

特別講演の最後には、長瀬氏から「自らを発展・発達させることができるのは自分以外にはいないことを十分認識し、勉学等に励むことが大切である」と学生たちに語りかけていただきました。



多田氏がタンザニア人との感動のエピソードを語る

鮎と飛騨牛の恵方巻き

本学と岐阜県立大垣桜高等学校との高大連携（出前講義）活動の一環として、同校生徒が開発した「鮎の太巻き」のレシピをアレンジし、この冬、恵方巻きとして店頭販売しました。

恵方巻きは、経営学部ビジネス企画学科の学生が商品開発でコラボしている（株）鶴舞屋が製造し、その取引先スーパーであるトミダヤ（巣南店、羽島店の2店舗）において、節分の日に両校学生、生徒が店頭にて「鮎の恵方巻き」と「飛騨牛しぐれの恵方巻き」の2本セットを販売しました。

学生や生徒らは、販売イベントの売り子として商品PRを行ったり、お客様に対して恵方巻きを販売するなどまさにアクティブラーニングを体験。販売促進活動の貴重な学びとなりました。



鮎と飛騨牛の恵方巻きを販売

日商簿記検定直前対策講座

穂積キャンパス6号館大講義室で「日商簿記検定2級－直前対策講座－」が開講され岐阜県内の商業科目を学ぶ生徒約200名が参加しました。



高校生が真剣な表情で直前対策講座に取り組む

同講座は、岐阜県高等学校商業校長会からの要請により、商業科で学ぶ高校生が会計を武器に自身の可能性を広げ、将来、地域社会に役立つ人材として育っていくことを期待し毎年開講されています。

生徒らは合格をめざし、会計研究部の小島一富士監督の一言一句を逃さず真剣な姿勢で取り組んでいました。

公認会計士試験合格者を多数輩出

会計研究部所属の学生8名（経営学部）が、昨年末の「公認会計士試験（論文式試験）」合格者（6名）に引き続き、みごと「公認会計士試験（短答式試験）」に現役合格しました。

本学では、公認会計士をはじめとする高度な会計資格に挑戦し合格できるよう、岐阜県高等学校商業校長会と連携し、2012年度から充実した会計教育を行っております。

入院患者さんを癒す

村上記念病院では、寒さを迎えるこの時期に入院患者へひざ掛けを贈っています。

この行事は、毎年行っている催事で、本院とかかわりの深い森プリント（株）（本社：岐阜県羽島郡笠松町米野）の森典義社長により寄付された「ひざ掛け」を入院患者さん一人ひとりへ贈りました。

心のこもった贈り物

本院の非常勤講師で、いちだクリニック院長（岐阜市清本町）の市田正成先生や森社長、日下義章副病院長らがサンタクロース姿に扮して病室を訪問。市田クリニックのスタッ



入院患者にひざ掛けを贈る

フらが「アベ・マリア、ジングルベル」など美しい歌声を病室に響かせる中、患者さんに「早く良くなりますように」と声をかけてひざ掛けを渡すと、患者さんは「入院生活の中で、楽しい時間と心のこもったプレゼントをありがとうございます」と顔をほころばせていました。

社会人基礎力育成グランプリ 「優秀賞」

全国の大学生チームが、大学での活動（授業・研究・ボランティア活動等）を通じて社会人に必要な自主性や協調性などを身に付け、どれほど成長したかを競う「社会人基礎力育成グランプリ2017中部地区大会」が、社会人基礎力協議会の主催により開催されました。

同大会に、法学部の学生団体「朝日大学BBS会」が出場し、みごと「優秀賞」を受賞しました。今後は、拓殖大学（東京）で開催される全国決勝大会に進出し、日本各地から選ばれた9大学と競うこととなります。



大友学長に受賞を報告

入学前セミナーを開催

歯科医師への道がスタート

「歯学部入学前セミナー」が、穂積キャンパス及び大垣フォーラムホテルで開催され、今春の入学を心待ちにした入学予定者が参加しました。

セミナー会場では、江尻貞一歯学部長から「入学までの貴重な時間を将来の歯科医師という夢に向けた歩みの期間としてもらいたい」との挨拶、「教育方針、歯学教育の現状、歯科医師をめざす学生像」などの説明や入学までの様々なアドバイスが行われました。グ



入学前セミナーで様々なアドバイスを受ける（歯学部）

ループディスカッション、チューターらとの座談会やボウリング大会等を通じて、教職員との交流もはかられ、参加者たちは、朝日大学での充実した学生生活に夢と希望をふくらませていました。

看護師をめざす

また、保健医療学部看護学科でも「入学前セミナー」が穂積キャンパスで開催され、多くの入学予定者が参加しました。

参加者は全体研修として「看護学科からのメッセージ」と題したガイダンスを受講し、その後、看護実習室やキャンパス内の各種施設を見学しました。その後は教職員や先輩たちと「ティータイム」でさらに交流を深めました。

参加者からは「大学生活への不安が解消されました」などの感想が寄せられ、有意義なセミナーとなりました。

ラーニングコモンズ誕生！



新たな学習環境が整う

穂積キャンパス5号館2階図書館分室に、会話をしながら学習ができる「アクティブ・ラーニング・スペース」と、静かに学習できる「Thinking Space」が誕生しました。

電子黒板(BIG PAD)と壁面ホワイトボード、可動式の机と椅子を備えた「アクティブ・ラーニング・スペース」では課題作成などのグループ学習が可能です。また、新たに貸出用ノートパソコンを利用し、法学・経営学・健康スポーツ学の専門資料を参考に個人学習ができる空間も整いました。

学生からは、「とても明るくなり、利用しやすくなった」などの声が寄せられ入館者数が3割ほど増えています。

就職活動本格スタート

法学部・経営学部3年生の就職活動がいよいよ本格的に始まりました。

本学では、就職支援の一環として就職活動を直前に控えた学生（3年生）を対象に、大垣フォーラムホテルにおいて「企業と大学による面接合宿」を実施しました。



人事担当者による「模擬面接」

ビデオで面接の様子を確認

同合宿では、人事担当者を講師に招き、「グループ面接」から「グループワーク」まで、実践的で幅広い指導が2日間にわたり行われました。参加した学生たちは、就職戦線を目前に控え真剣な面持ちで講師のアドバイスに耳を傾け、それぞれが手応えを感じている様子でした。

積極的に自己アピール

岐阜都ホテル（岐阜市）では「朝日大学就職セミナー」が2日間開催されました。

本学学生の採用実績が豊富な全国からお招きした企業とマッチングを行う就職説明会で、学生たちが積極的に自分を企業へ売り込む場となっています。参加企業は200社、約200名のリクルート姿の学生が各企業ブースに足を運び、採用担当者と面談しました。

企業担当者からは、とくに参加学生の意欲・熱意が高く評価され、入学時から取り組んできた就職活動に対する備えの成果が大いに感じられた「就職セミナー」となりました。



輝かしい競技成績で 「清流の国ぎふ栄誉賞」受賞

本学体育会強化種目に所属する選手たちは、今季輝かしい競技成績により、「清流の国ぎふ栄誉賞」を受賞しました。

同賞は、スポーツほかの分野で国内、世界トップレベルの活躍をした個人や団体に贈られる賞です。



「清流の国ぎふ栄誉賞」を受賞

フェンシング部 佐々木 光 ビジネス企画学科4年：島根

小原 佑太 ビジネス企画学科4年：青森

自転車競技部 中村 賢人 ビジネス企画学科4年：熊本

永田 吏玖 ビジネス企画学科2年：岐阜

会計研究部 山本 夢有人 経営学科3年：岐阜

チームY20

バレーボール界を語る

バレーボール女子日本代表前監督で保健医療学部健康スポーツ科学科客員教授の眞鍋政義先生が、岐阜市内のホテルで開催されたながら会総会の席上で、今後の「バレーボール界」について熱く語っていただきました。

クラブチーム「ヴィクトリーナ姫路」でゼネラルマネージャーを務める眞鍋先生は、ロンドン五輪で銅メダルへと導いた経験から「スポーツ界全体がプロ化する流れの中、日本のバレーボールが世界で戦い勝利するには、プロ化が必要」と解説。総会に出席した教職員約500名は日本のスポーツ振興の行方に耳を傾けていました。



眞鍋先生がバレーボール界を語る

卓球クリニック in 宮古

沖縄県宮古島で、「卓球クリニック in MIYAKO」が、「朝日大学公開講座」として開催(共催:宮古島市教育委員会、後援:宮古島市卓球連盟協会)されました。



参加者全員で記念写真

2回目の開催となった宮古島での卓球クリニックでは、特別講師にロンドンで開催されるチームワールドカップ日本代表の上田仁氏(協和発酵キリン所属)、同じく協和発酵キリン所属の森本耕平氏ならびに本学OGで元日立化成所属の森本薰子氏を迎え、体育会卓球部監督米塚正弘、コーチの米塚暁がアシstantを務めました。中・高校生や指導者、保護者ら参加者からは「世界と戦うトップアスリートのプレーを直接見ることや指導を受けることにより大いに刺激を受けました。また、このような機会を作っていただいたことに感謝しています」との声が寄せられました。

また、翌日には日程の都合で参加できなかった小・中学生を対象に米塚監督、暁コーチによる特別指導教室が開催されました。

「ベースボール・アカデミー」開催

岐阜県野球協議会が主催し、朝日大学が共催する公開講座「ぎふベースボール・アカデミー」が穂積キャンパス5号館講義室で開催され、ボーイズリーグの選手・父母や指導者たち約110名が参加しました。



和田氏が野球界について語る

アカデミー開催にあたり本学客員教授で岐阜県野球協議会理事長の後藤寿彦氏が挨拶。引き続き、元中日ドラゴンズ外野手でNHKプロ野球解説者の和田一浩氏(岐阜県立岐阜商業高等学校出身)による「不撓不屈-野球が教えてくれた3つの事-」と題した講演をいただきました。

NEWS

創立47周年記念植樹

朝日大学は、本年1月19日(金)で創立47周年を迎えました。これを記念して、穂積キャンパス内のAUクラブハウス(剣道場)東側にて「記念植樹」が行われました。



本学のさらなる発展・成長を願い、記念植樹を行った

大友克之学長の挨拶の後、出席した教職員の手により本学が一層たくましく発展・成長することを祈り、記念樹の「クロガネモチ」が植樹されました。

沖縄をはじめ各地で教育懇談会

沖縄県出身の在学生や新入生の保護者を対象とした「朝日大学教育懇談会」が、ホテルロイヤルオリオン(那覇市)で開催され150名を超える参加者がありました。

懇談会では、即戦力として実社会に旅立つことができる魅力ある教育内容、きめ細かな指導体制、充実した医療体制や施設設備がそれぞれ紹介されました。説明を聞いた保護者からは、「沖縄と岐阜では気候などの違いはあるものの、学べる環境が整っており安心して子供を送り出すことができます」との声が多く聽かれました。

「ビデオレター」を上映

懇談会場では、穂積キャンパス内で撮影された沖縄県出身学生のビデオレターが上映され、参加者たちは、岐阜



沖縄の教育懇談会で宮田淳理事長が挨拶

の地で元気に大学生活を送る我が子の姿を確認していました。

また、同様の教育懇談会が大阪、福岡、熊本でも開催され、多くの保護者たちが、熱心に学修環境の説明などに耳を傾けていました。

「2018年度学年暦」決まる 入学式を4月2日に挙行

法学部・経営学部

保健医療学部 健康スポーツ科学科

前学期の日程	行 事 等
3月28日～4月4日	ガイダンス期間(法・経) (健康診断を含む)
3月31日～4月3日	ガイダンス期間(健スポ) (健康診断を含む)
4月2日	入学式(春季)
4月4日	前学期授業開始(健スポ)
4月5日	前学期授業開始(法・経)
3月28日～4月11日	履修登録期間
4月19日～25日	履修登録修正期間
4月25日	「建学の精神と社会生活」 フィールドワーク(法・経・健スポ)
7月23日	前学期授業終了(健スポ)
7月25日	前学期授業終了(法・経)
7月26日～8月1日	前学期定期試験期間
8月2日～9月18日	夏季休業期間(法・経)
8月2日～9月20日	夏季休業期間(健スポ)
8月2日～10日	集中講義期間
8月17日～20日	前学期成績確認期間(健スポ)
8月17日～21日	前学期成績確認期間(法・経)
8月20日	前学期追・再試験手続日
8月27日～9月1日	前学期追・再試験期間
9月19日	卒業式・入学式(秋季)
9月20日	秋季ガイダンス
9月21日	後学期授業開始

(注)日程等変更となる場合があります。

歯 学 部 (6学年:3月28日に新年度開始)

前学期の日程	行 事 等		
	1 学 年	2・3・4 学 年	5 学 年
3月28日		教務オリエンテーション、 定期健康診断(2・3年)	
3月29日		教務オリエンテーション、 定期健康診断(4年)	教務オリエンテーション、 定期健康診断
3月30日			実力テスト
3月31日	教務オリエンテーション、 定期健康診断		
4月2日	入学式		
4月3日	学生部オリエンテーション、 教務オリエンテーション	前学期授業開始	前学期授業開始
4月4・5日	新入生学外研修		
4月6日	アチーブメントテスト		
4月7日	前学期授業開始		
5月28日～6月2日	前期中間試験期間	前期中間試験期間	
7月21日	前学期授業終了	前学期授業終了	
7月23日～31日	前学期定期試験開始 前学期定期試験終了	前学期定期試験開始 前学期定期試験終了	
8月1日	夏季休業開始	夏季休業開始	
8月31日	夏季休業終了	夏季休業終了	
9月3日	後学期授業開始	後学期授業開始	

(注)日程等変更となる場合があります。

保健医療学部 看護学科

前学期の日程	行 事 等
3月28日～4月3日	ガイダンス期間(健康診断を含む)
4月2日	入学式(春季)
4月4日	新入生研修
4月5日	前学期授業開始
7月23日	前学期授業終了

(注)日程等変更となる場合があります。